

平成24年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称	〔25〕 東京都台東区立くらまえ高齢者在宅サービスセンター					
指定管理者の名称	社会福祉法人東京援護協会			指定期間	H21.4.1 ~ H26.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	老人福祉部門〔特別養護老人ホーム(3)、ケアハウス(1)、高齢者在宅サービスセンター(6)、居宅介護支援事業所(6)、地域包括支援センター(3)、訪問介護事業所(1)〕他					
(2)類似施設の管理実績	高齢者在宅サービスセンター 5 施設					
(3)経営状況	(23年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入5,028,276,697円、歳出4,862,964,738円、収支差額165,311,959円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区蔵前 2 - 1 1 - 7					
(2)設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。					
(3)利用者	要支援・要介護と認定された高齢者					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日(年始1月1日～3日を除く) 8時30分～17時15分					
(5)規模	延べ床面積 3,937.96㎡のうち574.55㎡ 鉄筋コンクリート造地上7階地下2階のうち6階の一部					
(6)人員体制	13名 内訳...事務員(1)、相談員(1)、介護職員(常勤5、非常勤4)、看護職員(常勤1、非常勤1)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	通所介護(送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等)、介護予防通所介護(送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等)(定員30名)					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算	委託料	17,955,000	12,728,000	10,000,000	9,972,700	9,643,000
	料金収入等	78,175,000	78,105,000	76,864,000	84,337,300	77,963,000
	管理経費	96,130,000	90,833,000	86,864,000	94,310,000	87,606,000
決算	委託料	17,955,000	12,728,000	10,000,000	9,943,050	9,643,000
	料金収入等	78,795,826	78,983,445	76,488,561	86,787,421	83,564,903
	管理経費	81,953,033	133,820,667	85,207,780	89,221,523	90,052,132
	収支	14,797,793	-42,109,222	1,280,781	7,508,948	3,155,771
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	
開館日数	日	310	311	311	312	
定員	人	30	30	30	30	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(25年度)	21年度	22年度	23年度	
利用率	%	90.0	82.7	82.6	88.0	
利用者数	人	8,400	7,720	7,703	8,238	

7. 平成23年度評価結果に対する現在までの取組み				
活動内容や機能訓練の充実を図るなどの取組みにより、利用率が向上し収支の改善につながった。				
8. 評価項目				
		3: 協定等の水準を上回っている。 2: 協定等の水準どおりである。 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。	0: 協定等の水準を下回っている。 -: 評価対象外項目。	
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.2]	(a)施設の目的達成 (b)サービス水準 (c)職員配置 (d)職員研修 (e)案内・接遇	[2] [2] [3] [2] [2]	(f)開館時間等の遵守 (g)自主事業の成果 (h)個人情報保護 (i)緊急時対応 (j)警備・防犯体制	[2] [-] [2] [3] [2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 (b)備品の管理 (c)清掃・衛生管理 (d)施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e)危険箇所等の確認 (f)管理記録の作成・保存 (g)業務委託の事前承認 (h)省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.2]	(a)利用者・第三者機関の評価 (b)苦情・要望への対応と報告 (c)利用者数の目標達成	[2] [2] [3]	(d)利用しやすい環境整備 (e)関係団体・地域との関わり	[2] [2]
(4)歳入歳出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 (b)経費縮減のための取組み	[2] [2]	(c)収支計画の達成 (d)利用料等の徴収・管理	[2] [2]
9. 評価				
S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。				
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	S	人員は配置基準を上回っており、利用者のニーズに応じた活動を取り入れるなど、サービスの向上に努めている。また、浅草消防署の自衛消防コンクールにおいて、最優秀賞を受賞するなど、災害対策への取組みも万全である。		
(2)施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃等の建物管理は、適切に行われている。施設の老朽化に伴う修繕等の対応についても迅速に行われている。		
(3)利用者の満足度	S	機能訓練の充実により、利用者、家族そしてケアマネージャからの信頼を得ており、利用者数の増加につながっている。また、地域住民に参加を呼びかけた「くらまえ作品展」を開催するなどの取組みが図られている。		
(4)歳入歳出	A	予算については適切に執行されている。今後も引き続き、サービスの質を維持しながら管理経費の縮減に取り組んでいく必要がある。		
10. 総合評価				
良好 妥当 要努力 要改善 不適				
良好		利用者数が大きく増加し、利用率が改善するなど、適切な運営及び改善が図られている。今後も引き続き、利用者のニーズに応じたサービスを提供しながら、更なる収支の改善に取り組んでいく。		
11. 平成24年度評価結果に対する今後の対応				
利用者のニーズに応じたサービスの提供に努め、施設の維持管理についても適切に実施されている。今後も継続して利用率の向上に取り組むとともに、サービスの質を維持しながら管理経費の縮減を図っていく必要がある。				